

情報システムユーザースキル標準 モデルカリキュラム

(08) IS 活用 編

Ver.1.0

2010年3月

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

(表紙うら)

< も く じ >

知識項目対応表.....	P. 2
シラバス設定コース一覧.....	P. 3
シラバス	
1. (08-M-01) IS 活用促進初級.....	P. 4
2. (08-M-02) IS 活用促進中級.....	P.10
3. (08-M-03) IS 活用促進上級.....	P.16
4. (08-S-01) データの戦略活用.....	P.26

知識項目対応表

本編は、共通キャリア・スキルフレームワークの項目のうち、IS 活用の知識項目対応表(表 1) に「 = 主項目、 = 関連項目」でマークした箇所に対応しています。

(表 1) IS 活用の知識対応項目

共通キャリア・スキルフレームワーク					対応項目
分野	大分類		中分類		
テクノロジー系	1	基礎理論	1	基礎理論	
			2	アルゴリズムとプログラミング	
	2	コンピュータシステム	3	コンピュータ構成要素	
			4	システム構成要素	
			5	ソフトウェア	
			6	ハードウェア	
	3	技術要素	7	ヒューマンインターフェース	
			8	マルチメディア	
			9	データベース	
			10	ネットワーク	
			11	セキュリティ	
	4	開発技術	12	システム開発技術	
			13	ソフトウェア開発技術管理	
マネジメント系	5	プロジェクトマネジメント	14	プロジェクトマネジメント	
	6	サービスマネジメント	15	サービスマネジメント	
			16	システム監査	
ストラテジ系	7	システム戦略	17	システム戦略	
			18	システム企画	
	8	経営戦略	19	経営戦略マネジメント	
			20	技術戦略マネジメント	
			21	ビジネスインダストリ	
	9	企業と法務	22	企業活動	
			23	法務	

シラバス設定コース

本編は、シラバス設定コース一覧表（表2）に記載されたコースのシラバスを掲載しています。

（表2）シラバス設定コース一覧表

コース レベル	番号	コース名	研修方法	コースの コマ数	記載 ページ
マネジメント					
初級	08-M-01	IS 活用促進初級	講義 （含ミニ演習課題）	90 分×4 （1 日間）	P.4
中級	08-M-02	IS 活用促進中級	ワークショップ （含講義）	180 分×4 （2 日間）	P.10
上級	08-M-03	IS 活用促進上級	講義 （含ミニ演習課題）	90 分×8 （2 日間）	P.16
ストラテジ					
中級	08-S-01	データの戦略活用	講義 （含ミニ演習課題）	90 分×4 （1 日間）	P.26

シラバス 1. (08-M-01) IS 活用促進初級

1.1 . コースシラバス

コースコード	08-M-01
コース名	IS 活用促進初級
講座分類	初級
コース分野	マネジメント
研修方法	講義（ミニ演習課題を含む）
受講前提	IS 活用（システムの活用促進・評価）に関して入門的な知識を修得していること
コース概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムを有効に活用し、事業戦略の実現を目指すために、情報システムの構築時から活用促進や普及啓発活動を継続的に行う方法について学習する。 ・ 導入した情報システムの運用実態や利用実態を評価した結果に応じて、システム活用促進の改善の方向性と目標を明確化する基礎的な手法について学習する。
コース目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上司の指導あるいは管理の下、あるいは一部であれば独力で情報システムの活用促進や普及啓発活動を継続的に行うための基礎的な知識を修得する。 ・ 導入した情報システムの運用実態や利用実態を調査・評価し、その結果の分析結果から次の新たな改善を要求する基礎的な考え方を修得する。 ・ 上司の指導あるいは管理の下、IS の機能に対する改善要望について、活用促進の面から理由を説明することができ、改善目標を設定したり、事業成果を把握し、次期につながる改善要求を取りまとめたりする基礎的な知識を修得する。
コースに対応する 情報処理技術者試験	基本情報技術者試験 （システム戦略 システム活用促進・評価領域）
修得スキルの 評価方法	<p>以下の状況等を総合的に判断して評価する。</p> <p>受講前・受講後の知識確認テスト</p> <p>定量アンケート</p> <p>受講レポート</p> <p>演習課題の取り組み状況 など</p>

コースのコマ構成		
回数	コマタイトル	コマに対応する機能・役割定義
第 1 回	データ活用	090-01. 活用促進
第 2 回	IT 活用の普及啓発	090-01. 活用促進
第 3 回	情報リテラシの向上	090-01. 活用促進
第 4 回	情報システムの利用実態評価 と改善活動及び変更要求	090-02. 評価とフィードバック
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習課題は、基本情報技術者試験午後問題レベルが適切である。 		

1.2 . コマシラバス (1/4)

回数	第 1 回
コマタイトル	データ活用
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムに蓄積されたデータは、適切に分析・加工することにより今後の事業展開の戦略に活用できる重要性について理解する。 ・ 上司の指導の下、IS 活用促進の目的を達成するために、IS の利用目的に応じた戦略データの要求を取りまとめるデータの統計解析手法などを理解する。 ・ データを加工することにより、情報やナレッジへと変化することを理解する。
コマの学習内容	<p>(1) データの戦略的活用 CRM(Customer Relationship Management : 顧客関係管理) SCM (Supply Chain Management : 供給連鎖管理) SFA (Sales Force Automation : 営業支援) など</p> <p>(2) データの分析手法 作業分析 PTS (Predetermined Time Standards system : 既定時間標準) 法 ワークサンプリング法 など</p> <p>(3) データ検査手法 OC (Operating Characteristic : 作用特性) 曲線 サンプリング シミュレーション など</p> <p>(4) DWH (Data Ware House : 各項目間の関連性分析) データウェアハウスシステム など</p> <p>(5) BI (Business Intelligence : 膨大なデータを企業の意思決定に活用しようとする手法) BI ツール など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、演習課題 : 15 分)
その他	

1.2 . コマシラバス (2/4)

回数	第 2 回
コマタイトル	IT 活用の普及啓発
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムを活用するための教育や普及啓発活動などの重要性を理解する。 ・ 上司の指導の下、情報システムを活用するための教育や普及啓発活動などの計画作成や実施方法について理解する。 ・ 情報システムを活用するための知識として、IT 投資評価や人事評価などの方法について理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 普及啓発活動 普及活動 啓発活動 など</p> <p>(2) 普及啓発活動の計画と実施 計画の策定 実施 結果の評価 など</p> <p>(3) IT 投資評価 IT 投資 IT 投資評価表</p> <p>(4) 人事評価 報奨制度</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、演習課題 : 15 分)
その他	

1.2 . コマシラバス (3/4)

回数	第 3 回
コマタイトル	情報リテラシの向上
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標の実現を目指して、情報を安全、有効、効率的に活用するために情報リテラシを確立する重要性を理解する。 ・ 上司の指導の下、IS 活用促進の目的を達成するための情報リテラシを向上する施策の立案や実施などの方法を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 情報リテラシ</p> <p>コンピュータ・リテラシ メディア・リテラシ など</p> <p>(2) 情報リテラシ向上策</p> <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合研修 ・ ワークショップ ・ e ラーニング など <p>普及活動 啓発活動 など</p> <p>(3) 向上策の計画と実施</p> <p>計画の策定 実施 結果の評価 など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	

1.2 . コマシラバス (4/4)

回数	第 4 回
コマタイトル	情報システムの利用実態評価と改善活動及び変更要求
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容や業務フローの変更の有無、情報システムのパフォーマンス、信頼性などの運用状況やシステムの利用状況を把握、評価し、改善の方向性を明確にすることの重要性を理解する。 ・ 上司の指導の下、IT 投資の評価結果、情報システムの運用状況やシステムの利用状況を把握、評価した結果などによって改善を進める手法について理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 情報システムの運用管理 システム運用管理の現状と課題 システム運用管理ソフトウェア など</p> <p>(2) 情報システムの利用管理 システムの利用実態と調査 など</p> <p>(3) IT 投資評価 IT 投資評価指標 IT 投資評価の手順 バランススコアカード など</p> <p>(4) 内部統制 IT 全般統制 など</p> <p>(5) 改善要求 改善要求事項のとりまとめ 次期ビジネスモデルへのフィードバック 次期 IT アーキテクチャへのフィードバック</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	

シラバス 2. (08-M-02) IS 活用促進中級

2.1. コースシラバス

コースコード	08-M-02
コース名	IS 活用促進中級
講座分類	中級
コース分野	マネジメント
研修方法	ワークショップ（講義を含む）
受講前提	IS 活用（システムの活用促進・評価）に関して基礎的な知識を修得していること
コース概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「IS 活用促進初級」の後続コースとして、情報システムを有効に活用し、事業戦略の実現を目指すために、情報システムの構築時から活用促進や普及啓発活動を継続的に行う方法と手順や役割について学習する。 ・ 導入した情報システムの運用実態や利用実態を把握・評価し、システム活用促進の改善の方向性と目標を明確化して次期ビジネスモデルや IT アーキテクチャに反映する手法について学習する。 ・ IT 投資評価に関する手法について理解する。 ・ 客観的な評価・検証を行うために、外部専門家を活用することを理解する。
コース目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムの活用促進や普及啓発活動を、すべて独力で継続的に行うための基礎的な知識を修得する。 ・ 導入した情報システムの運用実態や利用実態を調査・評価し、その結果の分析結果から次の新たな改善を要求する実践的な考え方を修得する。 ・ IS の機能に対する改善要望について、すべて独力で利用促進の面から理由を説明し、改善目標を設定したり、事業成果を把握し、次期につながる改善要求を取りまとめたりする実践的な知識を修得する。
コースに対応する 情報処理技術者試験	応用情報技術者試験 （システム戦略 システム活用促進・評価領域）
修得スキルの 評価方法	<p>以下の状況等を総合的に判断して評価する。</p> <p>受講前・受講後の知識確認テスト 定量アンケート 受講レポート 演習課題の取り組み状況 など</p>

コースのコマ構成		
回数	コマタイトル	コマに対応する機能・役割定義
第 1 回	データ活用と DWH	090-01. 活用促進
第 2 回	IT 活用の普及啓発と 情報リテラシの向上	090-01. 活用促進
第 3 回	IT 投資評価（投資対効果）	090-02. 評価とフィードバック
第 4 回	情報システムの利用実態評価 と改善活動及び変更要求	090-02. 評価とフィードバック
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースに使用するモデル企業は、文書または図解で提示し、第 1 回から第 4 回まで通しで利用できるものが望ましい。 		

2.2 . コマシラバス (1/4)

回数	第 1 回
コマタイトル	データ活用と DWH
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムに蓄積されたデータを、使用目的に応じた戦略データの要求を取りまとめ、今後の事業展開の戦略に活用する実践的な手法について修得する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、データ活用のソフトウェアパッケージや導入手順、およびデータ活用の促進を支援する体制と環境を企画し、実践する高度な知識を修得する。
コマの学習内容	<p>- - 講義 - -</p> <p>(1) データの戦略的活用</p> <p style="padding-left: 40px;">KM (Knowledge Management : 知識情報管理)</p> <p style="padding-left: 40px;">CRM</p> <p style="padding-left: 40px;">SCM</p> <p style="padding-left: 40px;">SFA など</p> <p>(2) データの分析手法</p> <p>(3) データ検査手法</p> <p>(4) DWH</p> <p style="padding-left: 40px;">データマイニング</p> <p style="padding-left: 40px;">データウェアハウスシステム など</p> <p>(5) BI</p> <p style="padding-left: 40px;">BI ツール など</p> <p>- - ワークショップ - -</p> <p>ケースの</p> <p>(1) データの戦略的活用方針の策定</p> <p>(2) データ加工方法の決定</p> <p>(3) DWH 導入の検討</p>
時間の目安	<p>180 分</p> <p>(講義 : 30 分、ワークショップ : 150 分)</p>
その他	

2.2 . コマシラバス (2/4)

回数	第 2 回
コマタイトル	IT 活用の普及啓発と情報リテラシの向上
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムを活用するための教育や普及啓発活動などをすべて独力で行うための計画作成や実施方法について修得する。 ・ 事業目標の実現を目指して、情報を安全、有効、効率的に活用するために情報リテラシを、独力で確立する施策の立案や実施などの方法を修得する。
コマの学習内容	<p>- - 講義 - -</p> <p>(1) 普及啓発活動の計画と実施 計画の策定 実施 結果の評価 など</p> <p>(2) 情報リテラシ向上策の計画と実施 計画の策定 実施 結果の評価 など</p> <p>- - ワークショップ - -</p> <p>ケースの</p> <p>(1) 普及啓発活動の計画</p> <p>(2) 情報リテラシ向上策の計画</p>
時間の目安	180 分 (講義 : 30 分、ワークショップ : 150 分)
その他	

2.2 . コマシラバス (3/4)

回数	第 3 回
コマタイトル	IT 投資評価 (投資対効果)
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT 投資について、適切な評価指標を用いて独力で効果分析できる知識を修得する。 ・ IT 投資評価の実施について、独力で実践することができる高度な知識を修得する。
コマの学習内容	<p>- - 講義 - -</p> <p>(1) IT 投資マネジメント IT 投資マネジメント・プロセス IT 投資マネジメント・ツール IT 投資評価表 (バランススコアカード) など</p> <p>(2) 利用者満足度</p> <p>- - ワークショップ - -</p> <p>ケースの</p> <p>(1) IT 投資評価項目の設定 (2) IT 投資評価指標 (K P I 、 K G I) の設定 (3) IT 投資評価 (4) 利用者満足度からの評価</p>
時間の目安	180 分 (講義 : 30 分、ワークショップ : 150 分)
その他	

2.2 . コマシラバス (4/4)

回数	第 4 回
コマタイトル	情報システムの利用実態評価と改善活動及び変更要求
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムの運用状況やシステムの利用状況の評価や利用者満足度などの評価から、独力で改善の方向性を明確にすることができる知識を修得する。 ・ 客観的な評価・検証を行うために、アクセスログの監視や分析、外部専門家の活用などを理解する。 ・ 評価結果などから改善要求を取りまとめ、次期計画へフィードバックする手法について修得する。
コマの学習内容	<p>- - 講義 - -</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報システム運用管理 (2) 情報システムの利用状況調査 (3) システム運用の監査 ログの監視 ログの分析 など (4) 第三者評価・検証 (5) 改善要求のフィードバック <p>- - ワークショップ - -</p> <p>ケースの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報システム運用管理 (2) 情報システムの利用状況調査 (3) 改善要求のフィードバック
時間の目安	180 分 (講義 : 30 分、ワークショップ : 150 分)
その他	

シラバス 3. (08-M-03) IS 活用促進上級

3.1 . コースシラバス

コースコード	08-M-03
コース名	IS 活用促進上級
講座分類	上級
コース分野	マネジメント
研修方法	講義（ミニ演習課題を含む）
受講前提	IS 活用（システムの活用促進・評価）に関して実践的な知識を修得していること
コース概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「IS 活用促進中級」の後続コースとして、データ活用、IT の普及啓発活動、情報リテラシの向上など IS 活用の全局面において、問題の発見と解決をリードし、IS を活用するメンバを指導・管理できる高度かつ専門的な知識を学習する。 ・ IT 投資効果を評価するとともに、事業戦略の実現に向けたシステム運用実態および利用実態を評価し、その結果に応じて改善要求を取りまとめ、次期の戦略策定にフィードバックできる高度かつ専門的な知識を学習する。 ・ 業種や分野別の特性にとらわれない汎用的な IS 活用の概念を学習する。
コースの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業戦略の実現に必要なデータ活用を促進する高度かつ専門的な知識を修得する。 ・ 組織内の IS 利用者に対し、新ビジネスモデルの定着や IT アーキテクチャの最大活用など普及・啓発する活動をリードする高度かつ専門的な知識を修得する。 ・ ビジネスモデルや IT アーキテクチャを一体として実現するために、IS 利用者の能力および組織の能力を向上させる適切な施策の立案をリードする高度かつ専門的な知識を修得する。 ・ IT 投資効果と事業戦略の実現に向けたシステム運用実態および利用実態を評価し、その結果に応じて改善要求を取りまとめ、次期の戦略策定にフィードバックする高度かつ専門的な知識を修得する。
コースに対応する 情報処理技術者試験	IT ストラテジスト試験
修得スキルの 評価方法	<p>以下の状況等を総合的に判断して評価する。</p> <p>受講前・受講後の知識確認テスト</p> <p>定量アンケート</p> <p>受講レポート</p> <p>演習課題の取り組み状況 など</p>

コースのコマ構成		
回数	コマタイトル	コマに対応する機能・役割定義
第 1 回	データ活用(1)	090-01.活用促進
第 2 回	データ活用(2)	090-01.活用促進
第 3 回	IT 活用の普及啓発	090-01.活用促進
第 4 回	情報リテラシの向上	090-01.活用促進
第 5 回	チェンジ・マネジメントと コントロール	090-02.評価とフィードバック
第 6 回	IT 投資評価	090-02.評価とフィードバック
第 7 回	システム運用管理と利用管理	090-02.評価とフィードバック
第 8 回	改善要求とフィードバック	090-02.評価とフィードバック
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ミニ演習課題は、IT ストラテジスト試験午後問題程度が適切である。 		

3.2 . コマシラバス (1/8)

回数	第 1 回
コマタイトル	データ活用(1)
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの戦略的活用の重要性を理解し、データ活用を実践するためのデータの分析・加工・評価などの手法と統計に関する高度な内容を理解する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、データから情報、ナレッジへと付加価値を高める高度な知識を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) データの戦略的活用</p> <p>会計情報 商品・在庫情報 営業・顧客情報 など</p> <p>(2) 情報とナレッジ</p> <p>情報 ナレッジ ナレッジデータの取りまとめ など</p> <p>(3) データの分析・加工手法</p> <p>ピボットテーブル など</p> <p>(4) 統計分析手法</p> <p>平均と分散 分散分析 回帰分析 主成分分析 判別分析 時系列分析 など</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	データの分析・加工手法や統計分析手法など、事例紹介をするとよい

3.2 . コマシラバス (2/8)

回数	第 2 回
コマタイトル	データ活用(2)
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナレッジデータの共有に関する高度な内容を理解する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、データ活用のソフトウェアパッケージや導入手順などの高度な内容を理解する。 ・ データ活用の促進を支援する体制と環境を企画し、その整備を指導する高度な内容を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) ナレッジデータの共有 ナレッジデータ データの共有 など</p> <p>(2) データウェアハウス データの一元管理 明細データの管理 明細データの精緻な分析 意味のある情報の抽出 など</p> <p>(3) データ活用のための戦略的視点 マーケットの収益性 マーケットに対する業務プロセスの効率性 業務プロセスの採算性 業務プロセスに対する組織行動の効率性 組織活動の業績評価</p> <p>(4) 戦略的情報システムの機能 BPM (Business Process Management : ビジネスプロセス管理) CRM SFA SCM など</p> <p>(5) ソフトウェアパッケージ</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	戦略的情報システムの機能など、事例紹介をするとよい

3.2 . コマシラバス (3/8)

回数	第 3 回
コマタイトル	IT 活用の普及啓発
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業戦略の実現に向けた IT 活用を促進するための普及啓発活動や教育などに関する高度な知識と、普及啓発活動や教育などを企画し、実践をリードする知識を理解する。 ・ 成果主義や褒章などの人事制度や動機づけや人間関係のマネジメントなどに関する高度な内容を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 普及啓発 普及啓発活動 活動方法 など</p> <p>(2) IT 活用促進教育 教育内容 教育方法 クラス学習と e ラーニング</p> <p>(3) 人事制度 成果主義 報償と報酬 など</p> <p>(4) 行動科学 動機づけ 意欲 など</p> <p>(5) 人間関係マネジメント メンタルヘルス など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	IT 活用の普及啓発事例などを紹介するとよい

3.2 . コマシラバス (4/8)

回数	第 4 回
コマタイトル	情報リテラシの向上
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ IS 活用促進の目的を達成するための情報リテラシと情報リテラシ教育に関する知識を理解し、情報リテラシ向上のための教育研修などを企画し、実践をリードする知識を理解する。 ・ 情報リテラシ向上のために行う評価のために、スキルと到達レベルや教育評価の指標、および IS 利用者のスキル評価に関する高度な知識を理解する。 ・ 情報リテラシ向上のために利用する IT サービスベンダーや IT 関連教育会社に関する知識を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 情報リテラシ 情報リテラシの定義 など</p> <p>(2) 情報リテラシ向上策 集合研修 e ラーニング など</p> <p>(3) IS 利用者のスキル評価 コンピュータ・リテラシ メディア・リテラシ など</p> <p>(4) 研修受講者の評価 知識確認テスト 定量アンケート 受講レポート など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	情報リテラシ向上策事例などを紹介するとよい

3.2 . コマシラバス (5/8)

回数	第 5 回
コマタイトル	チェンジ・マネジメントとコントロール
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT 活用による業務改革の定着とチェンジ・マネジメントの実施状況を的確に把握し、管理者の立場としてマネジメントの実践と指導ができる高度な知識を理解する。 ・ チェンジ・マネジメントの実態を評価し、必要に応じてマネジメントをコントロールできる高度な知識を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 業務改革</p> <p>全体最適と部分最適 業務全体と個別業務 など</p> <p>(2) モニタリング</p> <p>モニタリング項目 モニタリング指標 など</p> <p>(3) チェンジ・マネジメント</p> <p>計画 実施 状況把握 コントロール など</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	

3.2 . コマシラバス (6/8)

回数	第 6 回
コマタイトル	IT 投資評価
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT 投資について、適切な評価指標を用いて効果分析できる高度な内容を修得する。 ・ IT 投資評価の実施について、管理者の立場として実践と指導ができる高度な内容を修得する。
コマの学習内容	<p>(1) IT 投資マネジメント IT 投資評価の目的 など</p> <p>(2) IT 投資マネジメント・プロセス IT 施策の位置付け 効果目標の設定 投資ポートフォリオ レビュー など</p> <p>(3) IT 投資マネジメント・ツール 診断用プロセス インタビュー用フォーム ベンチマーク IT カテゴリ別ソリューション候補 戦略マップテンプレート など</p> <p>(4) IT 投資評価の指標 ROI (Return on Investment : 投資利益率) 顧客満足度 従業員満足度 など</p> <p>(5) IT 投資評価表 バランススコアカード など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	

3.2 . コマシラバス (7/8)

回数	第 7 回
コマタイトル	システム運用管理と利用管理
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略の実現に向けたシステムの運用実態や利用実態を的確に把握し、評価できる高度な知識を修得する。 ・ 管理者の立場としてシステムの運用実態や利用実態の実践と指導ができる高度な内容を理解する。
コマの学習内容	<p>(1) システム運用管理</p> <p>システム運用管理の現状 システム運用管理課題 システム運用管理ソフトウェア システム運用管理ソフトウェアの選定 システム運用管理の自動化 など</p> <p>(2) システム利用管理</p> <p>システムの利用実態調査 システムの利用実態 など</p> <p>(3) ITIL (IT Infrastructure Library)</p> <p>サービスサポート サービスデリバリ など</p> <p>(4) 内部統制</p> <p>全社統制 業務処理統制 IT 全般統制 など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	

3.2 . コマシラバス (8/8)

回数	第 8 回
コマタイトル	改善要求とフィードバック
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムの効果評価や利用実態評価などから原因分析や問題解決分析などの手法により、改善要求を適切にとりまとめる高度な内容を修得する。 ・ 改善要求を次期ビジネスモデルや IT アーキテクチャの企画にフィードバックできる高度な内容を修得する。 ・ 管理者の立場として、改善要求とフィードバックの実践と指導ができる高度な内容を修得する。
コマの学習内容	<p>(1) 改善事項の分析</p> <p> 工程分析</p> <p> 流動数分析</p> <p> 稼働分析</p> <p> 原因分析</p> <p> ABC 分析</p> <p> 回帰分析 など</p> <p>(2) 問題解決技法</p> <p> 問題の発見と定義</p> <p> 問題の解決策の立案</p> <p> 解決策の検証 など</p> <p>(3) フィードバック・プロセス</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	

シラバス 4. (08-S-01) データの戦略活用

4.1 . コースシラバス

コースコード	08-S-01
コース名	データの戦略活用
講座分類	中級
コース分野	ストラテジ
研修方法	講義（ミニ演習を含む）
受講前提	IS 活用（システムの活用促進・評価）に関して基礎的な知識を修得していること
コース概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムに蓄積されたデータは、正しく適切に分析することにより、今後の事業展開の戦略に活用できる重要なものであることを学習する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、データを戦略的に活用するための情報資産を適切に管理し、適切な分析手法やツールを使用して解析する方法について学習する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、データを戦略的に活用するモデルとして、CRM などのデータウェアハウスやナレッジマネジメントなどの概念について学習する。
コース目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データを戦略的に活用するために、独力で情報資産を適切に管理する手法を修得する。 ・ データを戦略的に活用するために加工する分析・検査方法や加工したデータの統計解析手法を修得する。 ・ IS 活用促進の目的を達成するために、CRM やナレッジマネジメント、BI ツールなどの概念や事例を修得する。
コースに対応する 情報処理技術者試験	応用情報技術者試験 (システム戦略 システム活用促進・評価領域)
修得スキルの 評価方法	<p>以下の状況等を総合的に判断して評価する。</p> <p>受講前・受講後の知識確認テスト 定量アンケート 受講レポート 演習課題の取り組み状況 など</p>

コースのコマ構成		
回数	コマタイトル	コマに対応する機能・役割定義
第 1 回	戦略的データ活用の意義	090-01. 活用促進（データ活用）
第 2 回	分析・検査手法と統計解析手法	090-01. 活用促進（データ活用）
第 3 回	B I ツール	090-01. 活用促進（データ活用）
第 4 回	データマイニングと ナレッジマネジメント	090-01. 活用促進（データ活用）
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニ演習課題は、応用情報技術者試験午後問題レベルが適切である。 		

4.2 . コマシラバス (1/4)

回数	第 1 回
コマタイトル	戦略的データ活用の意義
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業にとっての重要な顧客、商品、契約などのマスターデータの管理方法を理解する。 ・ 顧客、商品、契約などのマスターデータから、今後の事業展開の戦略に活用できるデータを加工できることを理解する。 ・ 必要に応じて、マスターデータを見直すことを理解する。
コマの学習内容	<p>(1) 戦略的データ活用の意義</p> <p>顧客管理 商品管理 契約管理 など</p> <p>(2) 戦略的データの加工と構造の例</p> <p>顧客管理の例 商品管理の例 契約管理の例 など</p> <p>(3) マスターデータの見直し</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	

4.2 . コマシラバス (2/4)

回数	第 2 回
コマタイトル	分析・検査手法と統計解析手法
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データを戦略的に活用するために、データを加工する分析手法や検査方法を理解する。 ・ 加工したデータの統計解析手法を修得する。
コマの学習内容	<p>(1) データ分析手法 作業分析 PTS 法 ワークサンプリング法 など</p> <p>(2) 検査手法 OC 曲線 サンプリング シミュレーション など</p> <p>(3) 統計解析分析 回帰分析 回帰分析 判別分析 相関分析 時系列分析 主成分分析 など</p>
時間の目安	90 分 (講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)
その他	

4.2 . コマシラバス (3/4)

回数	第 3 回
コマタイトル	B I ツール
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データを戦略的に活用する事例として、BI テクノロジを理解する。 ・ BI テクノロジを実現する BI ツールを理解する。
コマの学習内容	<p>(1) BI テクノロジ</p> <p>(2) BI ツール</p> <p>意思決定支援システム</p> <p>データウェアハウス</p> <p>OLAP (Online Analytical Processing)</p> <p>データマイニング など</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	

4.2 . コマシラバス (4/4)

回数	第 4 回
コマタイトル	データマイニングとナレッジマネジメント
コマの学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データマイニングで実現できる CRM や市場分析、品質管理などの手法を理解する。 ・ データマイニングしたデータを共有するナレッジマネジメントの仕組みを理解する。
コマの学習内容	<p>(1) データウェアハウス 顧客管理 市場分析 品質管理 人事管理 など</p> <p>(2) ナレッジマネジメント</p>
時間の目安	<p>90 分</p> <p>(講義 : 75 分、ミニ演習課題 : 15 分)</p>
その他	